地域運営学校
令和８年度
学校だより
鑓水
令和8年9月28日
前期学校評価
まとめ号
八王子市立鑓水中学校

令和8年度　前期学校評価保護者アンケート　結果報告

副校長　末次　哲侍

学校評価に御協力いただきありがとうございました。

御多用の中、令和８年度前期学校評価に御協力いただきありがとうございました。延べ 113 名の方に御提出いただき、回収率が約 58％となりました。結果は以下の表のとおりです。学校や教職員への励ましの言葉や要望等多数お寄せくださいました。皆様からいただいた御意見を受け止め、教育活動の改善に努めてまいります。引き続き本校の教育活動への御理解・御協力をお願い申し上げます。

令和8年度　7月　学校評価アンケート結果【保護者用】〔回収率：57.7%〕

1-あてはまる　2-ややあてはまる　3-ややあてはまらない　4-あてはまらない　5-わからない(判断できない)

		1	2	3	4	5	1+2
1	鑓水中学校グループの育てたい児童生徒像（「好きになれる～自分・仲間・学校・地域・挑戦～」）を知っている。	65.5%	0.0%	0.0%	34.5%	0.0%	65.5%
2	学校は、特色ある取組（授業のユニバーサルデザイン化、生徒会を中心とした校則改訂の検討、学運協と協働した落ち葉掃き、「対話で指導」、定期考査前後の補習、評価評定の質問教室等）を行っている。	45.1%	40.7%	5.3%	0.9%	8.0%	85.8%
3	本校が、鑓水小学校・由木西小学校と合同で行う取組（「プレ中学生プロジェクト〔6年生による中学校1日体験〕」、生徒会による小学校訪問等）を知っている。	90.3%	0.0%	0.0%	9.7%	0.0%	90.3%
4	学校は、子どもたちが安心・安全に過ごせるように、避難訓練等の安全管理に取り組んでいる。	70.8%	14.2%	0.0%	0.9%	14.2%	85.0%
5	学校は、「特別の教科　道徳」を含む教育活動全体を通して、子どもたちが自分の大切さ、他の人の大切さを認め、行動できるような教育をすすめている。	46.9%	29.2%	5.3%	1.8%	16.8%	76.1%
6	学校は、いじめの未然防止、早期発見、早期対応等、いじめを許さない学校づくりに組織的に取り組んでいる。	38.9%	34.5%	4.4%	1.8%	20.4%	73.5%
7	子どもの学級では、授業や学校行事に意欲的に取り組むよう、指導が行われている。	38.1%	32.7%	5.3%	1.8%	22.1%	70.8%
8	学校は、授業において、説明、板書、話合い活動、ＩＣＴ機器（１人１台の学習用端末等を含む）の活用等の工夫に取り組んでいる。	39.3%	38.4%	0.9%	0.0%	21.4%	77.7%
9	学習活動に対する評価は適切・公平である。	23.9%	26.5%	13.3%	4.4%	31.9%	50.4%
10	学校は、子どもたちがよりよい学校生活を送れるように、生活目標を設定したり、きまりを守ったりする指導を行っている。	45.5%	38.4%	1.8%	0.9%	13.4%	83.9%
11	学校が、「はちおうじっ子　キャリア・パスポート」等を用いて、子どもの生き方や将来についてのキャリア教育を行っていることを知っている。	60.2%	32.7%	0.9%	1.8%	4.4%	92.9%
12	学校は、学習環境の整備に取り組んでいる。	35.7%	42.0%	3.6%	0.0%	18.8%	77.7%
13	学校は、保護者に対して、学校だよりやホームページ等で適切に情報を提供している。	65.5%	25.7%	5.3%	1.8%	1.8%	91.2%
14	学校は、特別支援教育（特別な支援を必要とする子どもに対しての教育）に取り組んでいる。	38.9%	31.0%	2.7%	1.8%	25.7%	69.9%

（Ⅰ） 各設問の評価の割合と評価が低い設問に対する改善事例

設問５「学校は、「特別の教科　道徳」を含む教育活動全体を通して、子どもたちが自分の大切さ、他の人の大切さを認め、行動できるような教育をすすめている。」設問６「学校は、いじめの未然防止、早期発見、早期対応等、いじめを許さない学校づくりに組織的に取り組んでいる。」設問７「子どもの学級では、授業や学校行事に意欲的に取り組むよう、指導が行われている。」設問９「学習活動に対する評価は適切・公平である。」設問 14「学校は、特別支援教育(特別な支援を必要とする子どもに対しての教育)に取り組んでいる。」等における肯定的評価（あてはまる・ややあてはまる）が 80%未満で、評価が比較的低い設問となっております。

以上、５つの設問について今年度の鑓水中学校の実践と改善策について御説明します。

設問	鑓水中学校の実践例	改善例
5	・「道徳科の授業における共通認識」を活用した道徳科の授業の充実 ・職員会議内で模擬授業を実施 ・全校朝会等での生活指導主任の講話	・道徳科の研究授業や道徳授業地区公開講座を実施 ・全校朝会等での生活指導主任の講話を継続実施
6	・※１「ハートフルタイム」の実施（夏休み明けの担任以外との二者面談） ・※2「シルクタイム」の実施（水曜日の放課後、生徒が希望する教員と面談） ・青少対と連携し「健全育成標語」を作成	・朝会や学年集会等で、「相手が嫌な気持ちになったらいじめである。日頃から相手に思いやりをもって生活することで、いじめの未然防止になる。」ということを生徒に伝える。 ・「シルクタイム」を活性化 ・ピンクシャツデー等、生徒会活動と連携
7	・※3「未来フォワードタイム」の実施 ・※4「キャリアカウンセリング」の実施	・学年集会、学年だより等でキャリアパスポートについて掲載
9	・「The　Next　Action～評価評定の質問教室～」の実施 ・各教科の授業での、評価評定についてのガイダンスの実施	・職員会議内で評価評定についての校内研修を実施 ・各教科の授業内で評価についてガイダンスを実施。個別の質問に対してもこれまで以上に丁寧に対応する。
14	・※5 校内別室（火・水・木曜日は校内別室指導員を配置）の効果的な利活用 ・特別支援教室の指導の充実	・校内別室を利活用する目的を生徒・保護者の方と共有する。 ・特別支援教室指導教員へ研修を実施する。

※１「ハートフルタイム」：夏休み明けに実施。生徒が担任以外と話したいことを話す時間。生徒への理解を深めることや、生徒が相談できる大人を増やすことが目的。

※２「シルクタイム」：毎週水曜日の午後に実施。希望する生徒が希望する教員と話す（相談する）時間。

※３「未来フォワードタイム」：鑓水中学校で育てたい非認知能力」の表を基に生徒が学期や行事の目標を考えたり、自身の成果を振り返ったりする時間。学期始め、終わり、行事の前後に全校で一斉実施。

※４「キャリアカウンセリング」：※3「未来フォワードタイム」で立てた目標や目標に対しての成果や課題を教員と１対１で対話し、深める時間。月曜日の午後を中心に実施。７月・12 月の三者面談でも実施。

※５校内別室：１階コミュニティールーム。令和４年度、教室以外の生徒の居場所として設置。各生徒の利活用の目的、方法等については本人・保護者と面談の上、校内登校支援委員会で協議・決定する。

（２）自由意見に対する回答

自由記述の御意見には、「評価・評定、The Next Action～評価・評定質問教室について」「生徒会活動やPTAからの生徒会予算（PTAより『鑓水中学校をより良くするための予算（5万円)』をいただいています)」の２点について多くの、そして様々な御意見をいただきました。この２点について重点的に回答させていただきます。その他の個別の御意見・御質問については、学校に直接、お問合せいただけると幸いです。

① 評価評定・「The Next Action～評価・評定質問教室～」について

「評価・評定、The Next Action～評価・評定質問教室～」については「達成率を教えてほしい」「The Next Action の時間が短い」等の御意見をいただきました。

本校では、「The Next Action」を単に評価・評定の数値を確認する場ではなく、生徒が自分の学習状況を理解し、「どこに課題があるのか」「今後どのような学習に取り組めばよいのか」について担当教員から具体的な助言を受け、次の学習につなげる場、まさしく「The Next Action」として位置付けてきました。

この基本的な考え方は変更しませんが、生徒が自らの学習状況をより具体的に把握し、今後の学習改善につなげられるよう、今後の学習改善に生かすための参考情報の一つとして、必要に応じて達成率についてもお伝えします。

|
|---|
| 【「The Next Action」の具体的な内容例】 |
| ① 現在の学習状況 → ②できていること・課題 → ③今後の学習方法 |
| 教科担当教員と生徒の対話の中で、生徒本人が希望する場合などには、学習状況を把握するための参考情報として達成率を伝えます。 |

「The Next Action」の時間については、時間を延長することを検討します。また当日の時間内に十分に相談できなかった場合や、当日不在の教科担当への相談については、後日、放課後等に個別に対応します。

② 生徒会活動、PTA からの生徒会予算について

生徒会活動については、「役員や一部の生徒に仕事が集中し、負担が大きい」「生徒会予算の使い方」等について御意見をいただきました。

鑓水中学校では「身の回りの課題に気付き、当事者意識をもって行動する力や、社会参画への意識を高めていくこと」を目的として、生徒会活動を活性化させようと取り組んでいます。「ルールメイキング」や「生徒会予算」の取組はその一例です。しかし現状では、役員や一部の生徒に仕事が集中する傾向があったり、多くの生徒が「傍観者」となり、巻き込みが弱かったりすることが課題となっています。「一部の役員の仕事」から「全校で学校を良くする活動」へ広げるために以下の３点の取組を行います。

（１）各委員会や各学級の協力体制の強化

中央委員会を通して、「本部役員→各委員会→各学級」の伝達ラインを整理し、本部役員が考えた企画を全校生徒に伝え、協力体制を整えます。

（２）生徒会本部の取組への参加
あいさつ運動等の生徒会本部が企画する取組に、各委員会や全校から募ったボランティアが参加し、当事者意識を高めます。「通年の委員会は厳しいが、年に一度くらいなら手伝える」という生徒の活躍の場をつくります。
（３）ルールメイキングの活性化
　昨年度は、「対話を深める」ことを中心にルールメイキングを進めてきましたが、実際に校則の改訂等について話し合う機会が十分ではありませんでした。そこで今年度は、「学校をより良くする」ことをテーマに校則の改訂等も視野に入れて対話を重ねることで、「自分の意見で学校が変わる」ことを実感させます。実際に、９月は「生徒会役員選挙で立候補者が定数内だったときに選挙演説や信任投票は必要か？」について各学級で対話をしました。今後、中央委員会で対話を重ね、検討をしていきます。
　続いて生徒会予算についてです。生徒会予算は、生徒会活動の活性化の一つの方策として、令和７年度より PTA から「鑓水中学校をより良くするための予算（年間で５万円）」を生徒会予算としていただいています。以下の表の流れで検討し、予算執行を目指します。

10月～3月	4～5月	6月	6～9月
予算案決定(生徒会本部で検討)	生徒総会で提案・承認	PTA運営委員会で提案・承認	予算執行

　また、検討の際は、中央委員会で、「どのように使えば学校をより良くできるか」をテーマに対話し、より良い形へとしていきます。

【「鑓水中学校をより良くするための予算」の使い道】

令和７年度「ブルーベリー畑をつくる」
●目的：鑓水中学校の象徴となる場所を作り、鑓中生が鑓水中により愛着をもつ。
●経過：中庭の花壇にブルーベリーの苗を植え付けました。今年度、ブルーベリーの実が収穫できました。収穫したブルーベリーは９月 15 日の給食（右の写真）になりました。

令和８年度「鑓水中フェス」
●目的：鑓水中学校のことを「音楽フェス」を通して地域の方に知ってもらう。
●経過：令和８年 10 月 24 日（土）の午後、青少対主催「やりみずプラザ」の中で「鑓水中フェス」を開催する準備をしています。

　以上のような生徒会活動を通して、生徒一人ひとりが「自分たちの意見や行動で学校をより良くすることができる」と実感することで当事者意識を高めていきます。保護者・地域の皆様も、ぜひ温かい目で見守り、応援していただければ幸いです。
　以上、学校評価を受けての改善策について回答させていただきました。今後も開かれた学校として、皆様の御意見に耳を傾け、学校と保護者・地域の方々が一体となった教育活動を進めてまいります。また、時期にかかわらず、御意見がございましたら、いつでも学校までお寄せください。どうぞよろしくお願いいたします。

【お問い合わせ】
八王子市立鑓水中学校　副校長　末次　哲侍
電話　042－675－7331